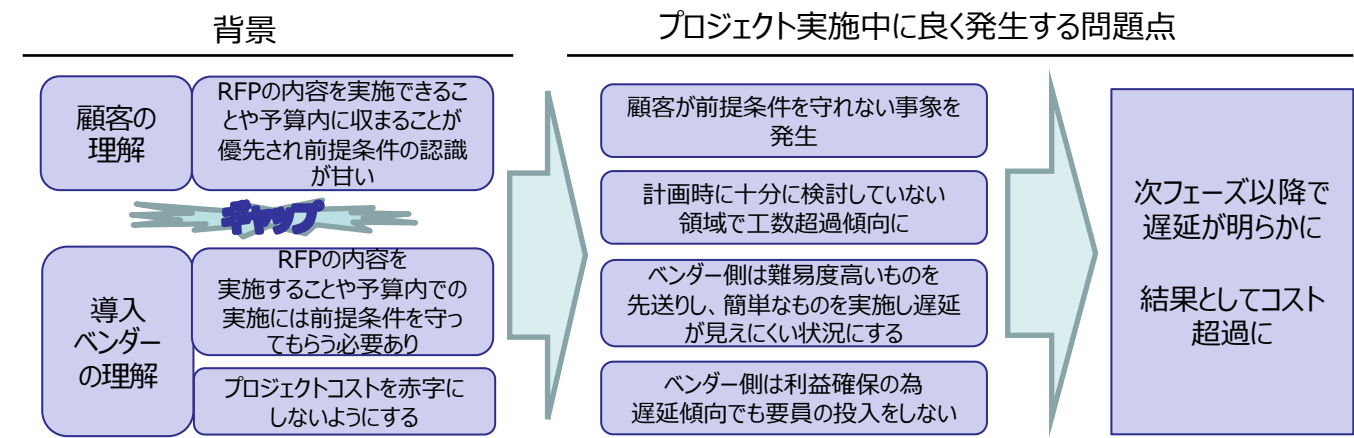




ERP導入プロジェクトリスク低減支援

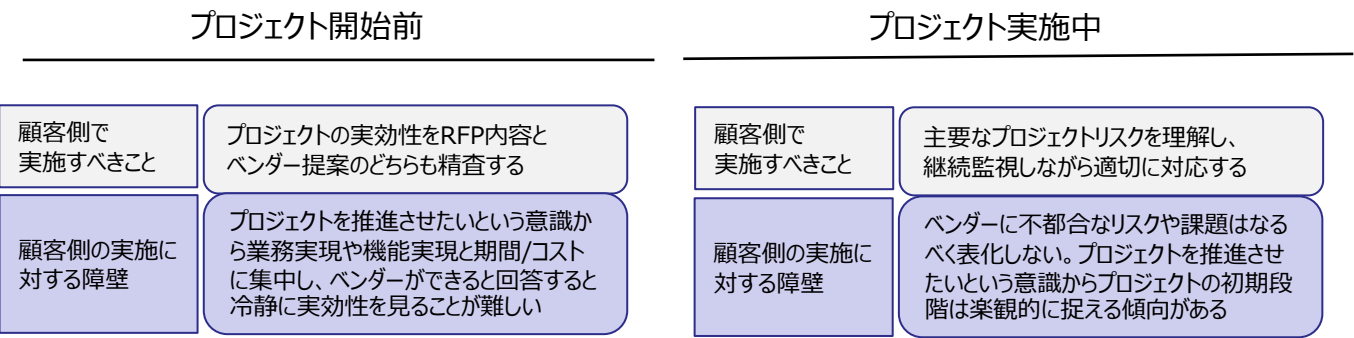
基幹システム更新の顧客と導入ベンダーの意識の違い

企業変革(DX)が求められる中、基幹システムの更新プロジェクトが進んでいる。過去の基幹システム更新より更にシステム化され複雑化していることや、前回更新を経験した顧客側の知見者が既にはない状況などがありプロジェクトの難易度が上がっている。また、導入ベンダー側も難易度が高いプロジェクトには必ずリスクヘッジする。その為、そこに理解の差が生まれ、それがプロジェクト実施後に重要な課題に発展することが多い。

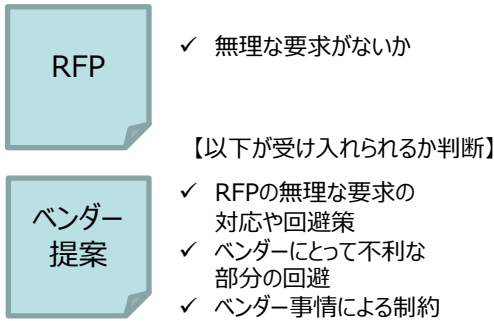


重要な課題を発生させない為の対応が難しい

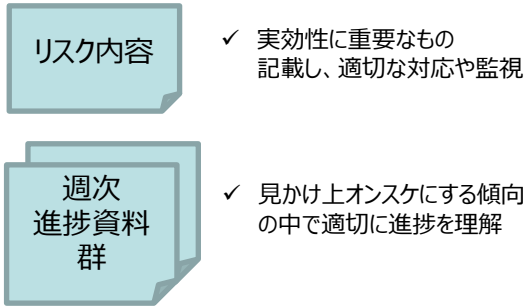
重要な課題を発生させないようにする為には、顧客自身がプロジェクトの実効性を判断しリスクを抽出し適切に対応すれば良いのですが、業務実現や機能実現と期間/コストに意識が集中していることや、プロジェクトを推進したい強い思いに導入ベンダーも同調する傾向にあり、プロジェクト当事者は、冷静にプロジェクトの実効性を判断できない状況になりやすい。



顧客側で実施すべき内容



顧客側で実施すべき内容

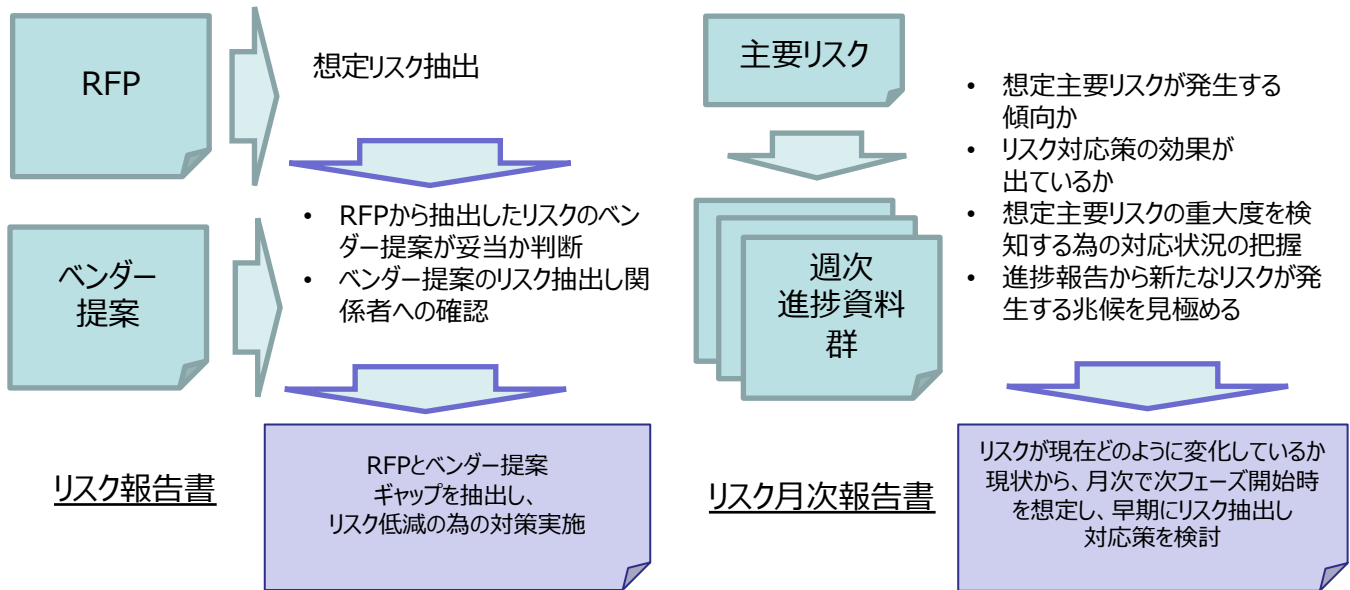


ERP導入プロジェクトリスク低減支援

第三者として、ERP導入プロジェクトリスク低減支援する。プロジェクト開始前は、RFPとベンダー提案からリスクになるギャップを発見し、それらのリスク低減対策を検討し対処する。プロジェクト開始後は、主要リスクを週次の進捗会議を利用して監視し、対策が必要と判断した場合は適時対応する。また、月次で次フェーズ開始状態を想定し、リスクとして加えるべきものがあるかを判断し、早期にプロジェクトリスク低減に努める。

プロジェクト開始前

プロジェクト実施中



Why QUNIE ?

基幹システム導入プロジェクトの推進を前提とし、プロジェクトを成功させる為に、第三者視点で早期にリスク抽出し、実現性の高いリスク低減策を打てることです。

実効性の高いプロジェクトの実現	多くのERP導入プロジェクト経験から得たプロジェクトの実効性を阻害要因(リスク)を早期に抽出するナレッジがあります。これらのリスク低減の必要性について議論し低減の可能性を探り現実的な対策を作成。
ベンダーや顧客の意識を理解	プロジェクトを推進する前提で、なるべく現在のプロジェクト進行に妨げならないようにベンダーや顧客側の置かれた状況を考慮しながら、実現性の高いリスク対策を検討できる。
低コストでの支援	プロジェクト理解後は、プロジェクト開始後の対応は0.3～0.5人月程度で本支援活動を実施。プロジェクトの負担を最小限にして本サービスを実行する。



株式会社 クニエ

〒100-8101 東京都千代田区大手町2-3-2 大手町プレイス イーストタワー11F
TEL: 03(3517)2292 FAX: 03(3517)2293
Email: info@qunie.com <https://www.qunie.com>

NTT DATA Trusted Global Innovator
NTT DATA Group